

2030年、マンションストックの過半数が築30年超！
建物の老朽化と、住人の老いがリンクする、かつてない時代を迎える
私たちはどうするべきか。具体的な事例から解決への処方せんを示す

【発売即重版】の話題書！ 60歳からのマンション学 購入申込書



新書 238頁
1冊 ¥900(税別)

※入金確認できた方から
順次発送いたします。

1. に✓をご記入ください。

60歳からのマンション学 1冊990円(税込) + 210円(全国送料一律) 合計1,200円

※弊協会から5冊以上の書籍を同時購入(種類や組み合わせは問わず)の場合は、別途ご相談ください。
なお、万が一売り切れの場合はご了承ください。

2. 郵便局窓口備え付けの「払込取扱票」に住所・氏名・電話番号を明記の上、該当合計金額を払い込みください。
なお、払い込みに要する手数料は別途ご負担願います。お急ぎの方は、払い込みの証明となるものをご添付下さい。

払込口座 加入者名 : 一般社団法人 マンション管理員検定協会
口座番号 : 00110-6-263332

3. 下記、必要記載事項を記入し、郵送もしくは、FAX(03-6868-6075)までご送付ください。その際に個人情報のお取り扱いについてもご確認ください。この「購入申込書」並びに「払い込み」が確認でき次第、順次発送いたします。

フリガナ			
ご送付先住所	(-)		
氏名		電話番号	
Eメール			

【個人情報のお取り扱いについて】※一読のうえ、下記□に✓をご記入ください。

「購入申込書」にご記入いただく個人情報は、本件に関する確認・連絡と弊協会事業に関する情報提供のみ利用し、第三者に開示・提供・委託することはありません。ただし発送業務を外部に委託する場合は、開示することがあります。個人情報の提供は任意になりますが、ご提供いただけない場合、弊協会に関する事業・サービスの一部が受けられない場合が御座います。また、ご提供いただく個人情報は弊協会規定に基づいて管理致します。詳しくは弊協会ホームページ(<http://www.m-kanken.or.jp/>)掲載のプライバシーポリシーをご確認下さい。本件の個人情報の取扱い(開示・訂正等の請求を含む)に関するお問合せは、弊協会までお願い致します。

上記「個人情報のお取り扱いについて」 同意する 同意しない

〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-18 ジュエル銀座ビル6階
一般社団法人マンション管理員検定協会「書籍購入係」
TEL:03-3524-8150 FAX:03-6868-6075

2030年、分譲マンション約780万戸のうち、築30年以上が過半数を超える。老朽化・高齢化・資金不足・役員のなり手不足…「二つの老い」による問題が、待ったなしで押し迫る！
私たちはマンションを「終の棲家」にできるのか。管理組合・管理会社・我々管理員は、いま何をすべきか。様々な事例から、マンションに潜む落とし穴とその解決への処方せんを示します。

【発売後即重版】の話題書「60歳からのマンション学」

- ・Amazon カテゴリ部門【第1位】
 - ・楽天ブックス 美容・暮らし・健康・料理部門【第1位】
 - ・紀伊國屋書店ウェブストア【第1位】
 - ・三省堂書店有楽町店、新書部門で売上【第1位】
 - ・丸善お茶の水店、新書・選書部門で、週間ベスト【第6位】
- ⇒ オンライン、リアル書店ともに、売れに売れて、発売後即重版されている話題書です！

本書の内容

近未来の2030年、統計によると、分譲マンション約780万戸のうち築30年以上が過半数を超える。またマンションの所有者をみると、「60歳代」が27.8%と最も多く、次いで「50歳代」が23.7%、「70歳代」は21.7%、さらに「永住するつもり」は60.4%と、年齢が高くなるほど永住意識が高くなる（令和5年度マンション総合調査）。

つまり、安全・安心・快適なマンションへの永住志向が強まる一方、自らの老いとマンションの老朽化、いわゆる「二つの老い」がリンクするというかつてない時代を迎えている。

しかし、マンションを所有するという事は、管理組合の合意形成がつきまとい、個々では対処できない問題も多い。大規模修繕、滞納金問題、空き駐車場問題、ペット問題…etc

そこに個々で判断すべき、フルリノベーション、買い替え、賃貸へ引っ越し、ローンのやりくり、リバースモーゲージといった、様々な問題にも直面する。さらに、いま話題のタワーマンションのメリットとデメリットなど具体的な事例からマンションに潜む落とし穴とその解決への処方箋が示されている。「マンション学」というだけあり、情報満載の1冊！

以下のような事例が取り上げられている。

- 【事例1】一人暮らしになって分譲マンションから賃貸へ
- 【事例2】夫婦二人になり、駅近マンションに買い替え
- 【事例3】あわや負動産。バリアフリーマンションへの引っ越し
- 【事例4】買い替えよりもフルリノベーションを選択
- 【事例5】終の棲家として買ったはずの住居で思わぬトラブル
- 【事例6】空き駐車場問題に理事長として奮闘
- 【事例7】戸建てを売りタワーマンを購入したものの・・・
- 【事例8】大規模修繕のお金がない？！



読者より「おすすめのコメント」

「二つの老い」という言葉はよく聞きますが、じゃあ一体どうすればいいのか、示されていないのが現状。この本は、とても読みやすくわかりやすいです。情報満載で今の時代にあった本だと思います。価格も安く、ぜひご一読することをおすすめします。

著者より「読者の皆さん」へ

日本はマンションを造り過ぎてしまったようです。購入することばかりに優遇措置を与えハコモノを増やし続けた国の責任は大きい。一方、住人もマンション管理をないがしろにしてきたツケがいま回ってきています。マンション問題は、社会の縮図そのもの。わかりやすい表現を心がけました。どうぞご一読ください。